

競 技 注 意 事 項

1. 2018年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. 招集について
 - (1) 招集時間
種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので
裏表紙の競技時間表を参照のこと
 - (2) 招集所は第1ゲート外側に設ける。
 - (3) 主競技場への入場は招集完了後、選手誘導係の誘導によって入場すること。
 - (4) 招集は必ず本人が行い、代理による招集は認めない。招集時刻に遅れた者は出場を認めない。
但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出ること。
 - (5) リレー種目は、オーダー用紙を招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。準決勝・決勝は変更ある場合のみ提出のこと。
 - (6) 棄権する者は招集開始時刻までにTICへ棄権届を提出のこと。(TICに用紙を用意する)
 - (7) トラック種目はレーン番号を示す腰ナンバーカードを受け取り着用のこと(800m以上)
ゴール後に係員に返却すること。
3. トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
4. 短距離種目では、競技者の安全確保の為、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を
走ること。
5. 4×100mリレーの第2・第3・第4走者のマーカ―は主催者が準備したものを使用すること。
6. トラック競技の記録は1/1000秒まで読みとり判定をする。
7. 5000m決勝・3000mSC決勝は1・2組よりタイムレースで上位8位を決定する。
8. バーの上げ方(練習の高さは審判長の判断で変更の場合がある)

<走高跳>

	(練習)			(開始)							
男子	1.65	1.75	1.90	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	以後 3cm
女子	1.35	1.50	1.60	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62	以後 3cm

(練習の高さは審判長の判断で変更の場合がある)

<棒高跳>

	(練習)			(開始)							
男子	3.40	4.00	4.60	3.40	~4.70	までは10cm	きざみ	4.70	より	5cm	きざみ
女子	1.60	2.50	3.00	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.70	以後	10cm

9. フィールド計測ライン（天候により変更あり）

	男子	女子
走幅跳	6m20	4m60
三段跳	12m40	10m00
砲丸投	11m00	8m00
円盤投	33m00	25m00
ハンマー投	30m00	20m00
やり投	43m00	30m00

10. 走幅跳及び三段跳びのピットは、トラック側よりAピット(1組)、Bピット(2組)とする。
三段跳の踏切板は男子 12m、女子 10m とする。
11. 1500m以上の長距離種目については、競技運営上支障が出た場合、競技を中断させることがあるので、選手は審判員の指示に従うこと。
12. スパイクのピンは、全天候競技場の為、9 mm以下のものを使用のこと。
但し、走高跳・やり投については 12 mm以下とする。
13. 各種目 6 位までに入賞した者は、成績発表後直ちにエントランスホールに集合すること。
14. 競技場内へは、出場選手・役員以外の立ち入りを禁止する。
15. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

その他

- 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃して帰ること。
- 持ち物の保管は各自で責任を持つこと。
- 練習所及び競技場周辺における投てき練習は禁止する。(投てき場使用不可)
- 各種目 6 位までの入賞者は東海新人大会の出場手続きを、今大会終了までに済ませること。
- 更衣室は、T I Cでナンバーカード提示し、使用すること。
- メインスタンドは防水処理加工がされているので、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。トイレ側の通路は空けておくこと。
- メインスタンドにテントの設置を禁止する。15 列目より上の席に各校控え場所を置くことは可とする。
- メインスタンド 1 階への入場は役員・ I Dカード持参者のみとする。
- 芝生席・バックスタンドにベンチ、テントの設置は可とする。
- メインスタンド席からの集団での応援は禁止する。
- 競技に支障が出る応援は禁止することがある。
- 走幅跳・三段跳は 3 回目の試技までは拍手を求めることを禁止する。